

① 研究課題名	脊椎椎体骨折患者における破局的思考と不安感の併存に関連する因子の検討	
② 実施予定期間（当院）	承認日 ～ 2023年12月20日	
③ 対象患者・疾患等	当院整形外科にて脊椎椎体骨折と診断され、保存療法にて入院加療をした者	
④ 対象期間（組入れ期間）	2020年1月1日 ～ 2021年12月20日	
⑤ 実施診療科（部門）	リハビリテーション室	
⑥ 研究責任者	リハビリテーション室 作業療法士	古株 竜也
⑦ 研究全体についての概要	<p>脊椎椎体骨折患者の主症状である疼痛は、保存療法にて多くの者が軽減するが、疼痛が慢性化する者も一定数存在する。疼痛が慢性化するメカニズムとして、Fear avoidance model が提唱されている。痛みを経験すると破局的思考という状態になり、さらに不安感が高まることで機能障害が起こり、疼痛が慢性化するという悪循環に陥る。急性疼痛を有する脊椎椎体骨折患者においても破局的思考が強くなることは報告されている。しかしながら、臨床現場では破局的思考が強い患者のうち不安感を有する者とそうでない者が存在する。</p> <p>よって。本研究の目的は、脊椎椎体骨折患者における破局的思考と不安感の併存に関連する因子を検討することとした。</p>	
⑧ 研究実施場所	当院 リハビリテーション室	
⑨ 個人情報の保護について	連結可能匿名化	
⑩ 利益相反	なし	
⑪ 問い合わせ先	済生会呉病院 リハビリテーション室 古株 竜也	
⑫ 連絡先	電話番号：0823-21-1601（代表以外の場合は変更すること）	
	FAX 番号：0823-24-5274（代表以外の場合は変更すること）	